

『まちづくりファシリテーター養成講座』概要

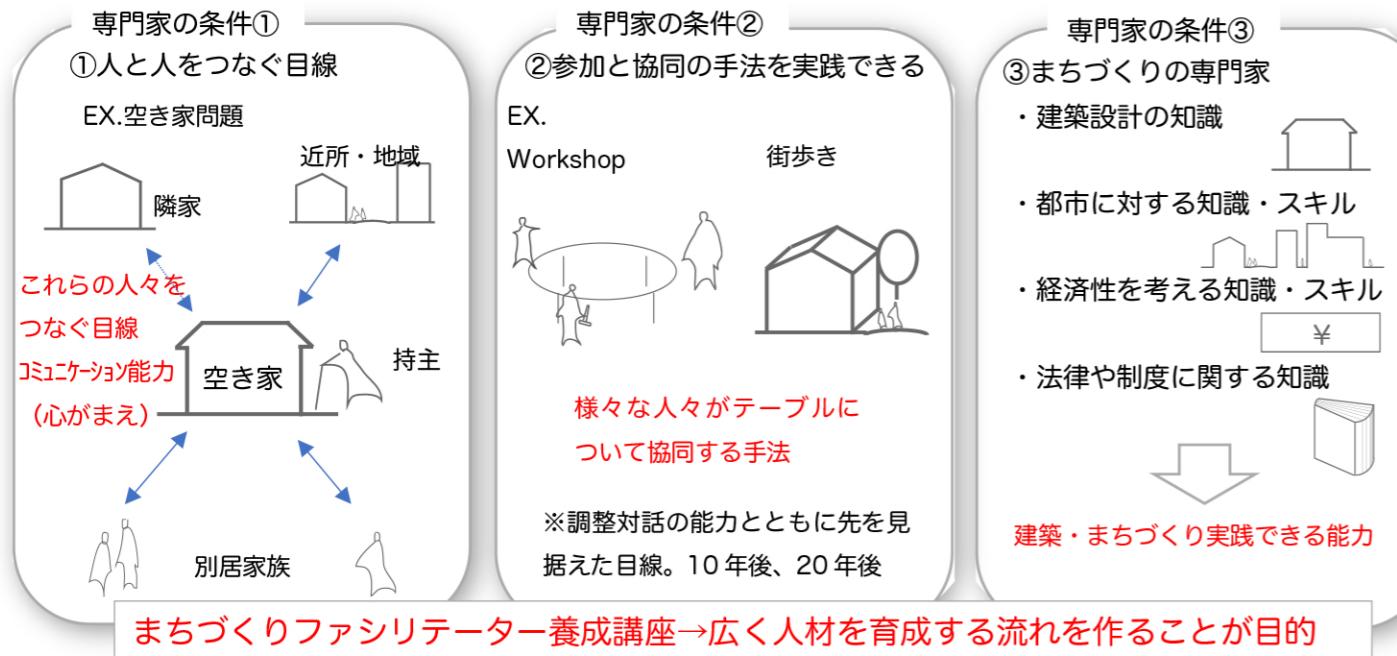
□PROLOGUE：社会的意義と目的

現在、地域における問題・課題として「空き家」「防災」「地域活性化」「福祉の充実」「人口減少」「担い手不足」などが存在している。それらを総合的に解決、推進するためには、地域創生を含めたまちづくり活動が大切である。行政においては、空き家対策は緊急課題であり、地域住民と共に解決策を見出しが求められている。これには建物だけではなく資金調達や運営、活性化といったエリアマネジメントを含めた総合的な知識が必要である。まちづくりには、多様な立場の人人が関わるため合意形成には専門的手法が必要となり、それを推進するためのファシリテーターが必要であるが、それを担う人材が不足しているのが現状である。本事業では、専修学校の建築系コースにおいて建築をベースにした専門家を輩出することを目的とした「まちづくりファシリテーター養成講座」の開発を行う。本事業の成果については、将来的に専修学校生だけでなく大学生および実務者も受講可能とすることにより、幅広い教育としての活用も想定する。また、講座にて、まちづくり活動の現場で受講者が体験学習を行うことでより効果的な講座運営をはかる。

「空き家問題」「木密地域に代表される地域防災の問題」「地域商店街の活性化」「進まない古い集合住宅の再生」..ETC

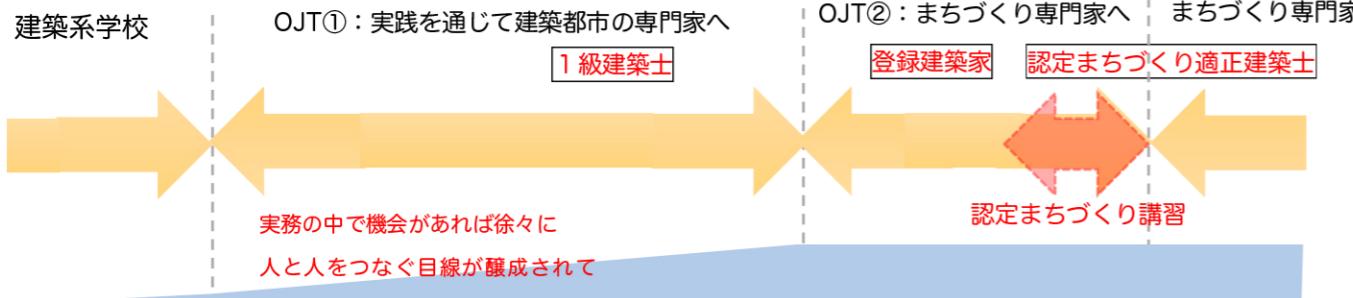
これらはなぜ進まないのか？

①「人」と「人」をつなぐ目線をもった、②参加と協同の手法を実践できる、③まちづくりの専門家が不足している。



□まちづくり専門家のキャリアストーリー：未来のまちづくり専門家の育成モデル

○現在

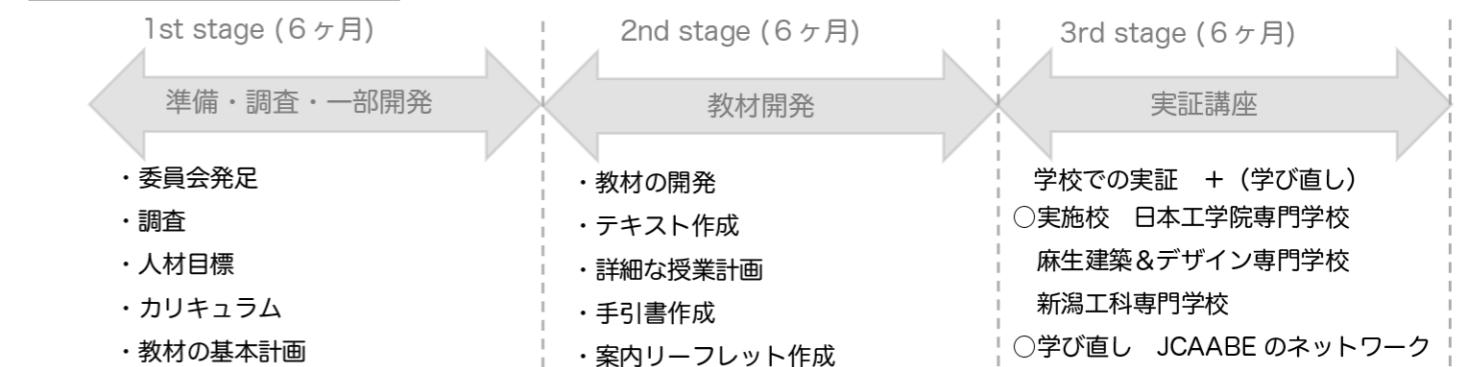


現在の欠点・OJTによるところが大きい・人数の少なさ、裾野の狭さ

□実施体制（連携体制）

- 提案者、管理、運営、事務局（職能団体）：主提案代表者として全体含め委員会運営、教材開発、事務局機能など
 - ・一般社団法人日本まちづくり適正支援機構（JCAABE）
- 協力教育機関：委員会への有識者の派遣、委員会会場の提供、教材の開発実践授業の実施
 - ①日本工学院専門学校（東京都大田区）
 - ②麻生建築＆デザイン専門学校（福岡市博多区）
 - ③新潟工科専門学校（新潟市中央区）
- 協力企業：委員会含め協力など
 - ・一般社団法人日本住宅環境保健機構
 - ・一般社団法人住宅建築コーディネーター協会
 - ・一般社団法人日本環境保健機構
 - ・一般社団法人不動産仲裁機構
 - ・一般社団法人チームまちづくり
 - ・パナソニックホームズ株式会社
 - ・大東建託株式会社
 - ・NPO法人モクチン企画
 - ・株式会社アットカマタ
- 行政（協力教育機関の所在地により今後選定）：実証講座まちづくりインターシップなどにて協力予定
 - ①東京都大田区（都市型まちづくり）
 - ②福岡市博多区（地方都市型まちづくり）
 - ③新潟市中央区（地方都市型まちづくり）

□事業計画案：1.5年計画案



□本事業の特徴

- 1_まちづくりファシリテーター養成講座（30コマ）の受講修了者は、「まちづくりファシリテーター養成講座修了証」を取得し、2年の実務（勤務経験）を経て、JCAABEに登録すると、「登録まちづくりファシリテーター」となる。
- 2_「登録まちづくりファシリテーター」は最上位のまちづくり資格「認定まちづくり適正建築士」取得に際し、1級建築士取得後すぐに登録可能となる。
- 3_JCAABEに登録されることにより、HPにおいて登録者情報提供と共に、より高度なまちづくり専門家との連携が可能になる。
- 4_まちづくりコミュニケーション能力により、まちづくりの専門家としてのOJTの質の向上が期待できる。
- 5_まちづくりファシリテーターとして、地域と行政と専門家を繋ぐ役割を担うことができる。
- 6_まちづくり専門家の増加、最上位の専門家からエキスパート予備軍までピラミッド型人材構成への道筋ができる。

□本事業後：まちづくりファシリテーター養成講座導入後

